

粒江お困り高齢者お手伝い隊

平成30年1月より、お手伝いを開始しました！

粒江地区社協を中心に「粒江お困り高齢者お手伝い隊」が発足しました。高齢者の方々が地域の中で安心して暮らせるよう、お手伝い隊員が“ちょっとした困りごと”を“お互いさま”の気持ちでお手伝いに行きます。

お手伝いできること + 料金

- ごみ出し 1回100円
- 資源ごみの仕分け 1回100円
- 玄関まわりの掃き掃除 1回100円
- 家まわりの草とり 1時間500円
- 米の精米 1回100円

隊員が訪問します

隊員になれる人 粒江在住で、お手伝い活動に意欲と理解があり、思いやりのある方。年齢は問いません。

利用できる人 粒江在住で、ちょっとした生活上の困りごとのお手伝いが必要な70歳以上の一人暮らしの方で、近隣に頼れる親族のいない方。

登録制となっています。利用者と隊員の両方に登録することも可能です。

お問い合わせ・お申込み
事務局：倉敷南高齢者支援センター
☎420-1355 【受付】月～金 9:00～17:00

主催：粒江地区社会福祉協議会


「ママさんカフェ」って？

家事、子育て真最中の忙しいママさんにお茶を飲みながら、お菓子を食べながら、ママさん同士おしゃべりをしたり、情報交換をしながらゆったり、のんびりと楽しいひとときを過ごして頂く「カフェ」です。

その時間、子守は愛育委員、児童委員、更生保護女性部の「ばあば」達が引き受けます。会費は300円で飲み物、お菓子付。時間は10時～12時。場所は中洲集会所です。去年は9月に、今年は2月に開催致しました。大勢のママさん達が参加され喜んで頂きました。次の開催日は未定ですが、決定致しましたらチラシを回覧致します。

不定期ですが続けていきたいと思っています。

愛育委員 藤岡 晴美



粒江地区社協だより

第20号
2018.3/25

発行
粒江地区社会福祉協議会

倉敷南高齢者支援センターが相談窓口です!!

～粒江小学校区にお住まいの高齢の方～

例えば、こんな時に相談してください。
「急に介護が必要になって、どうしていいかわからない」「介護保険について教えて欲しい」「家に引きこもりがちになって心配」「認知症になったかもしれない…」ととにかくどこに相談していいのかわからない」等々。

こんな方法で相談してください。
電話 いつでもいいです。匿名でもかまいません。
訪問 お宅や、病院等に出向きます。
窓口 お気軽にお立ち寄りください。

秘密は厳守いたします。相談は無料です。お気軽にご相談ください。



『うきうきオレンジカフェ』OPENしました!

ご家族 「家では認知症の夫と二人暮らしでストレスが溜まるけど、ここで皆さんに親身に話を聞いてもらえるから、ストレス発散できてスッキリするわ」
ご本人 「僕の趣味の写真のことで話が盛り上がると、嬉しいね」
スタッフ 「人生の先輩方と楽しくお話できて、貴重な機会を頂いたなと思います」

これらの感想は、昨年11月にオープンした『うきうきオレンジカフェ』にいられた方からお聞きした声です。毎月第2・第4月曜日の11:00～14:00に、粒江のうきうき館にて営業しています。営業といっても利用料は無料で、お昼のお弁当(現在440円)のみ持ってきて頂いています。お茶を飲んだり、趣味の話をしたり、トランプをしたり、心のモヤモヤを吐き出したり、お昼ご飯を一緒に食べたりしながら、楽しく穏やかな時間を過ごしています。「もの忘れはあっても、他は普通じゃからデブサービスやこう行きとねえ」「最近忘れっぽくなったわあ…」「夫が(妻が)認知症で家にいるが、どうにもイライラしてしまって、この気持ちを誰かに聞いてほしい」など、物忘れの心配がでてきた方、認知症のご家族と生活されている方に来てほしいと思っています。認知症の方への対応を理解した、優しいスタッフの皆さんが常駐していますよ。興味のある方は、お近くの民生委員さん、愛育委員さん、高齢者支援センターにお声かけください。



地域の高齢者の方についての相談はこちらへ
(倉敷市委託事業) 倉敷市倉敷南高齢者支援センター 倉敷市粒江2500-1 (浮洲区内) 電話 086-420-1355

お問い合わせや詳しいことは、下記までお電話下さい。

高齢者総合福祉施設 浮洲園 UKISUEN
TEL (086) 429-3311
FAX (086) 429-3314
ホームページ http://www.ukisuen.com

〒710-0034 倉敷市粒江2500-1
社会福祉法人 純晴会
理事長 岡本 康晴

- ◆特別介護老人ホーム
- ◆ショートステイ (昼間入居型)
- ◆デイサービスセンター
- ◆ケアハウス (軽度老人ホーム)
- ◆グループホーム
- ◆在宅介護支援センター (在宅介護支援)

グループホーム 萌 もえ

あなたのふるさと

指定認知症対応型 共同生活介護事業所

TEL (086) 424-1165 FAX (086) 426-6505
[URL] http://www.moe2003.net [E-mail] info@moe2003.net
〒710-0035 岡山県倉敷市黒石 377-1



Tsubue Community News

ひと粒

hito tsubu

第37号
2018.3/25

発行
粒江学区コミュニティ協議会

粒江学区コミュニティ協議会 視察研修に参加して

三支部 三宅 勉

今回の研修は22名で11月18日、19日に「伊勢市防災センター」に行きました。

伊勢市は、伊勢湾台風等大型台風の通り道で防災に取り組んでいます。昨年はサミットも行われた伊勢志摩国立公園の玄関口です。また古くから「お伊勢さん」と呼ばれ親しまれ歴史と文化に富んだ名所・旧跡も多くあります。

行程は、レンタカーを運転して信楽陶芸村国道店で昼食し伊勢神宮より伊勢志摩スカイラインよりホテルに泊まる。2日目は伊勢市防災センターより二見浦の夫婦岩より昼食後、掃路に着きました。

伊勢市防災センターは体験型学習施設で消防本部と併設になっており消防本部の見学もさせていただきました。模擬体験は、震度体験、浸水車からの脱出、水流による転倒等多くのことを学び、思いとは違ふことに気づくことが出来ました。防災訓練では昭和34年の伊勢湾台風で4mの高潮が押し寄せ最悪の自然災害になったことを教訓に東海地震に備え、津波避難タワーを設置しているなど、わかりやすく和やかにお話をされました。

伊勢神宮では、人と神を結ぶ架け橋の宇治橋で一礼して緑豊かな



二見浦の夫婦岩

参道を通り内宮にお参りして、美味しい名産品・食べて遊べる「おかげ横丁」へ寄り道し、散策を

楽しみました。二見浦の夫婦岩では、古来より日の出拝所として知られてきた夫婦岩、夏至の頃には遠く富士山の背後から昇る日の出を眺められ、神話では倭姫命（やまとひめのみこと）がその風景の美しさに

2度（二見）振り返ったと言われています。そんな今と昔の風景を思い浮かべ楽しめました。道中のレンタカー内では、誰かが種松山で猪を捕獲し捌き食べた、鶏も雀も昔は捌いて食べたり、すると猿も食べたことがあると誰かが言う。また野菜作りの秘策や失敗談等色々なローカル話題が飛び出し笑い声が途切れず知らぬまに狭い車内は打ち解けあっていました。

伊勢市では、防災を学び古い歴史と文化にも触れることもでき、また車内では交流も深めた研修でした。

ふれあい福祉運動会

5年 渡邊 うた

私は、ふれあい福祉運動会に、初めて、参加しました。最初は少しきんちようしたけど、スポーツをやりだしてから、とても楽しくなりました。私が一番、おもしろい！と思ったスポーツは、アイスコンです。アイスコンはなんと、岡山県で生まれたスポーツで、ルールのには、カーリングと同じです。私がおもしろいと思ったのは、中心も動かせるということなんです。それまで勝つていうのに最後の一球で中心が動いてしまっ

て、大逆転されてしまうということがありました。個人競技では、ダーツが真ん中に当たって、6位に選ばれました。うれしかったです。無料で、とん汁とおにぎりのサービスもあって、温かくておいしかったです。小さい子からお年よりまで楽しんでいたので幸せな時間が過ごせました。来年は、お年よりの方ともまわりたいです。

恒例のふれあい福祉運動会に参加した。受付で元気のいい男児とそのお父さんを見せて4人のチームが出来、いろんな競技を楽しんでもあり、個人種目も団体競技も熱戦が繰り広げられていた。個人種目は、自己責任であきらめもつくが、団体競技ともなればそうともいえず、仲間に迷惑をかけまいと知恵を巡らすもののがいきました。でも、元気のいいTくんとかじゃれ合いながら競技を楽しみ、もう一人孫が出来たよううれしかった。

残念だったのは、粒江小学校の児童数の割には子ども数が少なく、大人だけのチームもあったことだ。「ふれあい」ならば、3世代入り交じっての笑顔あふれた光景を見たいものだ。豚汁のおいしさの割にはちょっと寂しかった。運営をされた関係者には感謝をしつつ……。

ふれあいの輪

十二支部 渡辺 正博

恒例のふれあい福祉運動会に参加した。受付で元気のいい男児とそのお父さんを見せて4人のチームが出来、いろんな競技を楽しんでもあり、個人種目も団体競技も熱戦が繰り広げられていた。個人種目は、自己責任であきらめもつくが、団体競技ともなればそうともいえず、仲間に迷惑をかけまいと知恵を巡らすもののがいきました。でも、元気のいいTくんとかじゃれ合いながら競技を楽しみ、もう一人孫が出来たよううれしかった。

残念だったのは、粒江小学校の児童数の割には子ども数が少なく、大人だけのチームもあったことだ。「ふれあい」ならば、3世代入り交じっての笑顔あふれた光景を見たいものだ。豚汁のおいしさの割にはちょっと寂しかった。運営をされた関係者には感謝をしつつ……。

子ども見守り隊員募集のお願い

粒江子ども見守り隊 隊長 武田 鉄夫



粒江子ども見守り隊は、子供たちの安全を守る為のボランティア活動です。見守り隊は、数年前にあった女子児童の連れ去り事件が発端となって活動を開始しました。

皆様も承知のように、幼い子ども達が事故や事件に巻き込まれるニュースが後を絶ちません。皆さんのほんの少しのご協力でご供たちの安全を守る事ができるのではと思います。

なお、現在は、登校時の見守りと下校時（毎週水曜日）の見守りを中心に取り組んでいます。皆様の手の空いた時間に少だけ見守りをして戴くのでかまいません。それぞれの方に合ったやり方でご協力をいただければ助かります。

活動へのご理解とご協力をいただくとともに、ご参加をいただければ幸いです。

■連絡先 子ども見守り隊 武田
☎ 090-7374-7577

